

## 1 『長期財政に関する試算』作成にあたって

### (1) 目的

本市では、急速に進む少子高齢化、それに伴う人口減少など全国的な課題に対応するため、超長期の人口ビジョンである『沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』や30年間にわたる公共施設等の管理に関する『沼津市公共施設マネジメント計画』を策定しています。また、これらを踏まえ平成29年9月には30年間という長期間にわたる財政状況の試算を行いました。

今回、新総合体育館の完成など大規模事業が本格化する中、沼津駅周辺総合整備事業の計画見直しなども踏まえ、改めて現時点において妥当性のある条件のもと、今後30年間の財政状況の試算を行いました。

### (2) 作成のポイント

- ① 沼津駅周辺総合整備事業の事業期間について令和28年度までと予定しており、その財源である市債償還のピークを盛り込むため、試算の期間を30年としました。
- ② 人口減少の影響を『沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』（※1）に基づき、人口減少率を30年間で▲19.2% 1年あたり平均▲0.64%と見込みました。
- ③ 『沼津市公共施設マネジメント計画』（※2）に基づき、公共施設等の最適化に取り組むものとして試算しています。
- ④ 国の制度に基づく社会保障制度や臨時財政対策債の元利償還分は全て地方交付税に算入されるなど、地方財政対策の考え方に基づいています。
- ⑤ 歳入・歳出ともに、経済成長率の見込みは用いず、令和4年度及び令和5年度は見込額とし、令和6年度以降は原則として令和5年度見込額を基準としています。

### ※表記上の注意事項

- ・香陵公園周辺地区内に建設予定の新総合体育館等については、香陵公園周辺整備事業（略称：香陵公園整備）と表記します。
- ・ごみ焼却施設等の建設事業については、中間処理施設整備事業（略称：中間処理施設）と表記します。

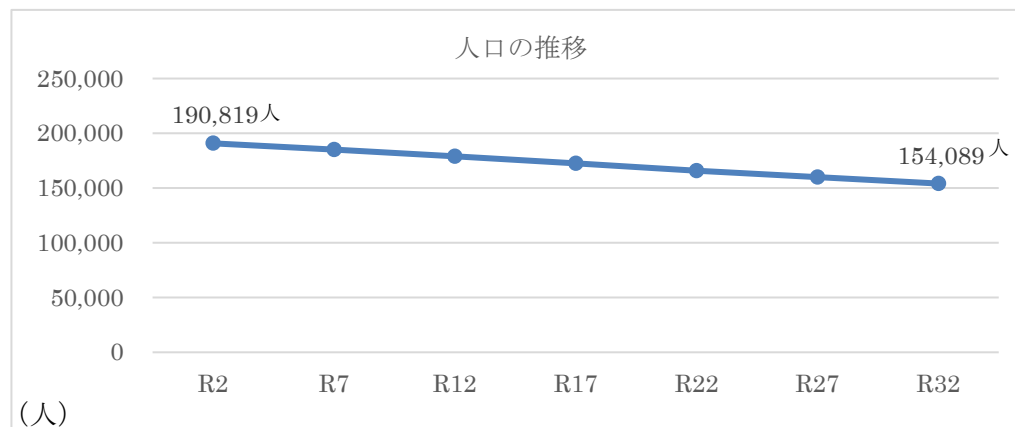
## ※1 『沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』

### ＜人口の推移＞

□令和2年：190,819人 ⇒ 令和32年：154,089人

□変動率：▲19.2% 1年あたり平均▲0.64%

(令和3年3月改訂)



## ※2 『沼津市公共施設マネジメント計画』

公共施設等が一斉に大規模な改修や更新を迎える中、需要に応じた必要な市民サービスを、より良い形で提供できるよう維持しつつ、これらにかかる中長期的な経費を軽減・平準化するための基本的な方針や手法を示すものです。

□公共建築物（学校や市営住宅など）：人口減少を考慮すると総延床面積換算で現在の80%～85%程度（15%～20%程度削減）を最適な量として考えています。

□インフラ施設（道路や橋梁など）：市民生活に密着した都市基盤施設であるため、人口が減少しても削減はできません。

(令和4年3月改訂)